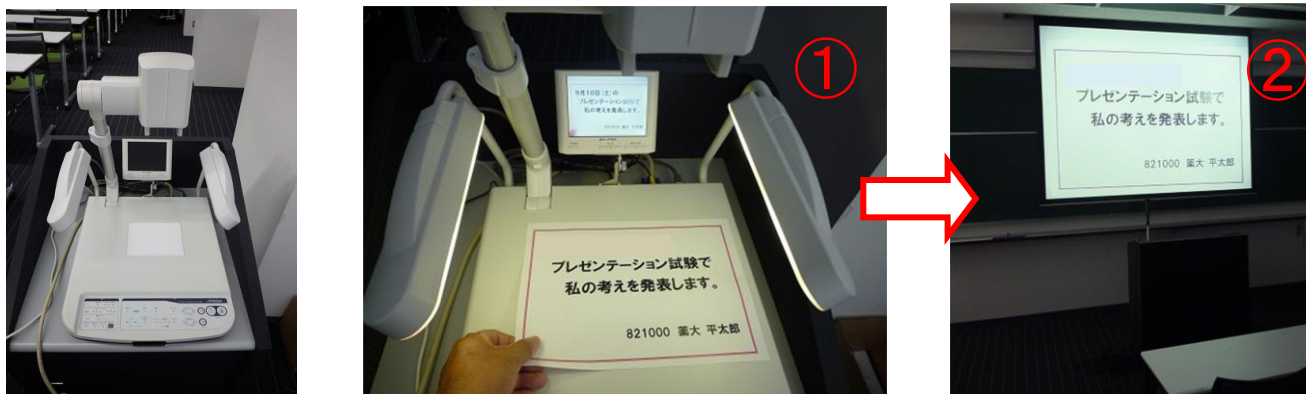


プレゼンテーション試験を選択する受験者のプレゼンテーション方法について

応用生命科学部 応用生命科学科の総合型選抜試験でプレゼンテーション試験を選択する受験者は、以下を参考にプレゼンテーション試験の準備をしてください。

プレゼンテーション試験は、試験室に設置した OHC（オーバー・ヘッド・カメラ）を使用して、プレゼンテーションを行ないます。

【OHC(オーバー・ヘッド・カメラ)の使用方法】



OHC は、写真のような投影装置です。

プレゼンテーション試験用の資料を OHC の平面台に載せると（写真①）、資料がスクリーンに映し出されます（写真②）。

スクリーンが横長のため、プレゼンテーション資料はA4判のヨコで作成してください。スクリーンには資料原稿と同じカラーで投影されます。

スクリーンに資料を投影し、プレゼンテーションを行っていただきます。

【プレゼンテーション資料について】

- (1) 投影されるスクリーンが横長のため、資料はA4判のヨコで作成してください。
- (2) 使用する色の制限はありません。
- (3) 資料の枚数に制限はありませんが、決められた時間内にプレゼンテーションが完了できるように調整をしてください。
- (4) 文字の大きさは、24ポイント以上を使用してください。
- (5) プレゼンテーション資料は試験当日に計3部を持参してください。
1部は映写用、残り2部はプレゼンテーションの試験官への提出用となります。

文字サイズ見本
(24ポイント)

あ

【プレゼンテーション方法の変更等について】

- (1) 作品、標本などの現物を使用する場合や、OHC以外のプレゼンテーション方法を希望する場合は、試験日の1週間前までに事前申告をしてください。

【申告方法】①受験番号、②氏名、③問合せ先（携帯電話番号等）、④具体的なプレゼンテーション方法を、以下のアドレスに送信してください。

【連絡先】新潟薬科大学入試課 nyuushi@nupals.ac.jp

- (2) パソコンを使用する場合は、各自でパソコンを準備してください。その場合も、接続環境その他の事情で持参したパソコンが使用できない場合には、OHCによるプレゼンテーションに切り替えていただくことがありますので、OHC用のプレゼンテーション資料も併せて準備してください。